

MOMO SAFETY HARNESS / PRO DRIVER 6P

MOMO 6 点式シートベルト / プロ ドライバー 6P

FIA STANDARD 8853-2016 (FIA 公認 8853-2016)

MANUAL (取扱説明書)



この度は当社 MOMO s.r.l. の製品をお選びいただき誠にありがとうございます。お客様がご購入された MOMO のシートベルトは、FIA 基準 8853-2016 に基づき FIA 競技会における競技用として国際自動車連盟で承認されています。

この度ご購入いただきました FIA 承認 MOMO 社シートベルトは、レーシングカー専用設計・製造されており、公道を走行する車両やカートでの使用には適していません。そのため、本商品において、規定された使用条件以外での使用は固く禁じられています。上記の条件が遵守いただけなかった場合、MOMO は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。MOMO のシートベルトは、走行中の安全を最大限に考慮して設計されていますが、カーレース中に起こりえるすべての危険を防ぐことはできません。MOMO のシートベルトは、本書に記載されている指示に従い、専門家および熟練した技術者のみを取り付けることをお勧めします。ご不明な点がございましたら、MOMO カスタマーサービスまでお問い合わせください。

仕様説明および警告

シートベルトは、ドライバーが運転を開始する前に正しく装着しなければなりません。これは、事故の際に自分の身を守るための重要な要素となります。シートベルトがドライバーを最大限に保護するためには、競技者は FIA 国際モータースポーツ競技規則付則 J 項または選手権の技術規則に規定されている取り付け指示に従わなければなりません。

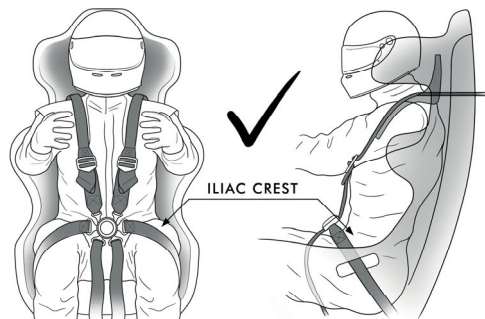
シートベルトの正しい取り付け方法は、自動車製造者が指定しているアンカーポイントのみを使用し、FIA 国際モータースポーツ競技規則付則 J 項に記載された規定に従うか、または選手権の技術規則に従ってください。重傷や死亡事故を防ぐために、スポーツカー、シングルシーター、クローズドキャブレレーシングカーのドライバーおよびコ・ドライバーは、必ずレースを開始する前にシートベルトの位置を確認してください。不適切な取り付けが確認された場合、競技審査員はドライバーおよびコ・ドライバーのレースへの参加を取り消すことができます。シートベルトが正しく取り付けられているか確認するには、以下の手順に従ってください。

1- 骨盤、腸骨稜部のバックルの正しい位置

腰部ストラップは、腸骨部と太ももの上部とのカーブにしっかりとフィットすることが重要です。決して腹部に装着しないでください。腰部ストラップと脚部ストラップは、可能な限り広い面で骨盤領域を固定しなければなりません。

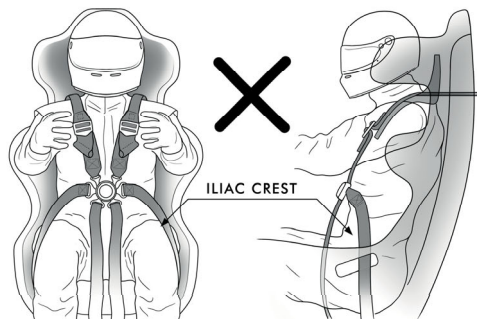
【正しいバックル位置】

Fig.1a - Buckle in the correct position



【誤ったバックル位置】

Fig.1b - Buckle in the wrong position



2- アンカーポイント (取付位置)

シートベルトのストラップは、FIA 国際モータースポーツ競技規則付則 J 項および競技会の技術規則に従って固定しなければなりません。シートやシートを支える構造物にシートベルトを固定することは固く禁じられています。事故時にシートのアンカーポイントが破損した場合、ドライバーがベルトと一緒にシートごと外に投げ出されることを防ぐためです。

附則 J 項および競技会の技術規則には、推奨角度でシートベルトを取り付けるための指示が記載されています。

以下の第 5 項をご参照ください。別売りの MOMO アイボルトを使用してください。

3- ストラップの通し方

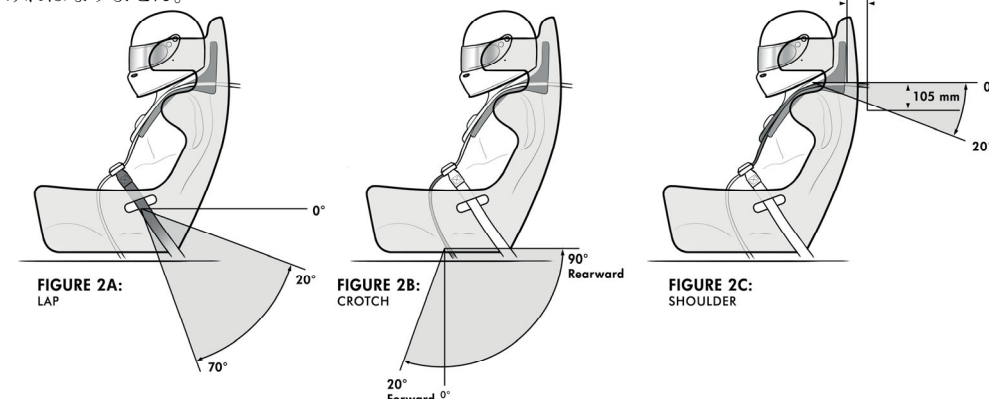
ストラップが鋭利なエッジやシート、ボディの切断面で擦れて損傷しないよう注意してください。すべてのシートベルトストラップは、肩と骨盤部を最大限の表面積で包み込んで保持するため、シートに設けられた専用の開口部を通さなければなりません。ストラップが開口部自体のエッジで摩擦しないよう、ストラップ全体が開口部を障害なく自由に通るようにしてください。

4- バックル周辺のスペース

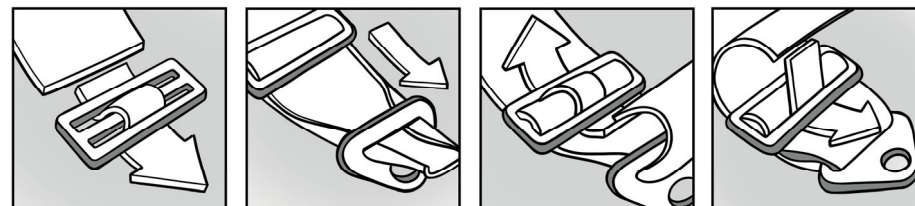
競技者は、運転中に誤ってシートベルトのバックルが外れてしまわないよう、ステアリング操作中にバックルから手が十分に離れているか確認してください。ハンドルを 180 度回転させる際も、手は常にバックルのレバーから安全な距離を保つようにしてください。

5- 取り付け

シートベルトの取り付けは、FIA 国際モータースポーツ競技規則付則 J 項および/または競技会の技術規則に準拠することが不可欠ですが、可能な場合は、以下の図に示されている角度にできるだけ忠実になければなりません。



ロック以下の手順に示すように、2 スロットのアジャスターは、ブラケットまたはロールバーにできるだけ近い位置に配置することが重要となります。



6-テンション調整

シートベルトは常にしっかりと締め付け、体に密着させるように調整することが重要です。FIA の安全対策部による研究では、シートベルトの適切なテンションが重傷のリスクを軽減し、頭部と頭部の保護装置（FHR）の正しい機能が確保されることが証明されています。

7-FHR デバイスとシートベルトの相互作用

頭部および首への負荷を軽減するために、Frontal Head Restraint（頭部前傾抑制）（FHR）装置は、正面または斜め前方からの衝撃時にドライバーの頭部を胴体に対して倒れないよう押さえます。FHR 装置から最大限の保護を確実にするため、FIA のガイドラインおよび競技会の FHR 装置の取り付け仕様に従ってシートベルトを設置しなければなりません。

8-シートベルトの着用方法

バックルを片手で持ち、解放レバーが閉じていることを確認してください。閉じていない場合、タングがバックルに正しく固定されません。もう一方の手で、すべてのタングをバックルのそれぞれのスロットに挿入し、「カチッ」という音がしてタングが正しく固定されたことを確認できるまで押し込みます。ストラップがねじれていないことを必ず確認してください。

9-調整方法

アジャスター（各ストラップの長さを調整する装置）は以下の手順で使用してください。

- ストラップを短くする場合は、アジャスターから出ているベルトの端部分を引っ張ってください。
- ストラップを長くする場合は、アジャスターを持ち、ストラップが中をスライドするよう引っ張ってください。

調整の手順

•腰部ストラップ:

アジャスターまたは調整装置（車両の固定具）を使用して、バックルがドライバーの尻部に対して中央に位置し、ストラップができるだけきつく締められるようにしてください。

•肩部ストラップ:

肩用のアジャスターを使用して、腰部ストラップが上がらないように調整してください。ドライバーの安全を確保するために、腰部ストラップが正しい位置、すなわち腰骨の最も低い位置にあることを確認してください。

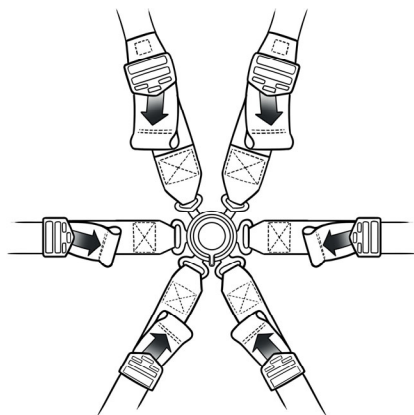
10-バックルの開け方

バックルを開けるには、「カチッ」という音がするまで解放レバーを左または右に回転します。レバーは完全に開いた位置で停止します。この動作により、タングが同時に開放され、ドライバーはベルトから解放されます。解放レバーはドライバーが逆方向に回すまで開いたまま留まります。

MOMO は、誤った取り付けや指示に従わなかった場合には一切の責任を負いません。

11-重要注意事項

レースや競技の前には必ず、安全装置を確認してください。シートベルトの各部品やアンカーポイントを点検し、摩耗や損傷がないことを確認してください。ストラップにオイルやグリースが付着していないことを確認することは重要です。



警告 ⚠

- 深刻な事故の後、シートベルトを交換し、車両のアンカーポイントを点検してください。
- ストラップがシートや車体の鋭利な部分と接触しないように注意してください。
- 切れ目やほつれが発見された場合、直ちにシートベルトを交換することが義務付けられています。
- 車両が事故に遭った場合、シートベルトの即時交換と車両のアンカーポイントの損傷がないことを確認してください。
- シートベルトの改造や修理は認められていません。
- シートベルトがグリースやオイルなどの、アジャスターの機能を低下させる可能性のある物質と接触しないように保護してください。
- 溶剤はストラップの耐久性に悪影響を与える可能性があります。
- MOMO のシートベルトは、成人と同等の体格の人を対象としています。

クリーニング

- ストラップのクリーニングは、ぬるま湯と石鹸を使用して行ってください。
- バックルは洗わないでください。
- 漂白剤、溶剤、オイル、その他の刺激の強い物質や潤滑性のある物質を使用しないでください。

不適切な製品の使用は、素材の本来の特性を損い、安全性が損われる恐れがあります。

保証

この度ご購入いただきました MOMO 製品は、EEC 指令 99/44 (*) に基づき、製造上の欠陥がないことは、配達日から 24 か月間保証されています。この保証には、上記期間内に製造上の欠陥が見つかった場合、無償での製品交換が含まれます。ただし、不適切な取付けやシートベルトの誤使用、または本マニュアルで規定された方法に従わないメンテナンスが原因の場合、保証は適用されませんのでご注意ください。また、法律に基づき、この保証はシートベルトを販売したディーラーによって直接提供されますので、必要な場合はディーラーに直接お問い合わせください。

MOMO s.r.l.は、製品の不適切な使用、乱用、または不適切なメンテナンスによる損害について責任を負いません。

MOMO s.r.l.は、損傷したベルトの使用や、修理や改造が施されたベルトの使用に関する一切の責任を負いません。

(*) 一部の国では、保証期間が異なる場合があります。その場合、購入された国の法律で規定された期間が適用されます。

＜お問い合わせ先＞ MOMO 日本総輸入販売元

〒158-0097 東京都世田谷区用賀 2-26-4

モモジャパン（株式会社レアーズ）

TEL : 03-5716-3503 (CLA 部門) /FAX : 03-5716-3504

<https://www.momojapan.com/>